2026年11月5日

各　位

会 社 名　株 式 会 社 フ コ ク
代 表 者　代表取締役社長 大城 郁男
コード番号　５１８５・東証プライム
問合せ先　取締役執行役員ＣＦＯ
松岡 善右
（TEL　048-615-4400）

通期連結業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、2026年5月 15 日に公表した 2027 年3月期の連結業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1．2027年3月期　通期連結業績予想数値の修正（2026年4月1日～2027年3月31日）

（単位：百万円）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益（円 銭）
前回発表予想（A）	85,000	3,300	3,300	2,300	161.72
今回発表予想（B）	90,000	4,000	4,000	2,800	196.78
増減額（B－A）	5,000	700	700	500	－
増減率（%）	5.9	21.2	21.2	21.7	－
（ご参考）前期実績（2026年3月期）	90,025	3,806	3,864	1,144	73.67

2．修正の理由

2027 年3月期の連結業績見通しにつきまして、連結売上高は、機能品事業、防振事業、ホース事業の売上高が堅調に推移し、営業利益においても、昨年度より取り組んできております生産性向上や価格適正化努力及び赤字低採算製品の削減の効果が表れてきていること、及び当中間期までの中東情勢が当社業績に与える影響、また原材料等の上昇に対する売価への反映に関する取組状況、及びこれらの第3四半期以降の業績への影響等を考慮し、売上高は900億円（前回予想比50億円の増収）、営業利益40億円（同7億円の増益）、経常利益40億円（同7億円の増益）、親会社株主に帰属する当期純利益28億円（同5億円の増益）へそれぞれ上方修正いたします。

一方で、当中間連結会計期間における我が国の経済は、雇用・所得環境の改善や各種政策の効果を背景に、景気は緩やかな回復基調で推移しましたが、中東情勢をはじめとする不安定な国際情勢、エネルギー・原材料価格及び物価の上昇、米国の通商政策や中国経済の動向等、依然として不透明な状況が続くと予想しております。

自動車業界においては、中国では国内景気動向による競争環境の激化、今後の日系を中心とする自動車メーカー各社の業績見通し、また、電気自動車の需要が足元では政策変更等の影響から調整局面にあること等、今後の市場動向を慎重に見極めていく必要があるとみております。

このような状況下ではあるものの、当社は収益の拡大と資本効率の向上を最優先とし、次の成長

に向けた変革に取り組んでおり、一定の成果が出てきております。今後とも、持続的な成長と中長期的な企業価値の向上を目指して、引き続き変革を推進してまいります。

なお、配当予想につきましては、前回公表予想から変更はありません。

上記の予想は、現時点で入手可能な情報に基づき当社が判断したものであり、実際の業績は様々な要因により、上記予想と異なる可能性があります。

以上